

令和3年度
事業報告書

公益財団法人広島市産業振興センター

目 次

	ページ
I 設立目的及び概況	1
II 評議員・役員の状況	1
III 評議員会等の開催	3
IV 定款の変更	4
V 職員の状況	4
VI 事業の実施状況等	5

令和3年度公益財団法人広島市産業振興センター事業報告書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

I 設立目的及び概況

1 設立目的

企業の経営基盤の強化、技術の向上その他の市内産業の振興及び発展に資する事業を行い、もって地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

2 概況

(1) 設立年月日

平成 4年4月1日 「財団法人広島市産業振興センター」設立
平成24年4月1日 公益財団法人に移行し、「公益財団法人広島市産業振興センター」に名称変更

(2) 基本財産

基本財産 50,000,000円(全額広島市出資)

(3) 実施事業

- ア 企業の経営の基盤強化及び革新に関する事業
- イ 技術の向上及び革新に関する事業
- ウ 創業支援に関する事業
- エ 企業の情報化の促進に関する事業
- オ 企業の人材の確保及び育成に関する事業
- カ 国際経済交流の促進に関する事業
- キ 商工業の振興に関する調査及び研究
- ク 広島市が設置する産業振興施設の指定管理
- ケ 広島市が設置する産業振興施設の管理運営の受託
- コ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

II 評議員・役員の状況

1 評議員・役員の数(令和4年3月31日現在)

評議員 10人
理事長 1人
常務理事 1人
理事 12人
監事 2人

2 評議員

(1) 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
令和3年 5月28日	評議員	川田 淳雄	辞任
令和3年 5月28日	評議員	鵜野 徳文	就任
令和3年 5月31日	評議員	立花 新吾	辞任
令和3年 6月1日	評議員	戸川 功志	就任
令和3年 6月17日	評議員	石田 文典	辞任
令和3年 8月1日	評議員	鳥越 直樹	就任

(2) 令和4年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員	植野 実智成	令和 元年11月11日
評議員	鵜野 徳文	令和 3年 5月28日
評議員	加藤 和行	令和 2年 4月1日
評議員	戸川 功志	令和 3年 6月1日
評議員	十倉 純子	平成24年 4月1日
評議員	鳥越 直樹	令和 3年 8月1日
評議員	新田 幸江	令和 2年 6月22日
評議員	藤坂 尚登	平成31年 4月1日
評議員	松木 一弘	平成27年 3月30日
評議員	若林 真一	平成31年 4月1日

3 理事・監事

(1) 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
令和3年 4月1日	常務理事	久保下 雅史	就任
令和3年 4月1日	理事	熊野 弘子	就任
令和3年 5月28日	理事	藤原 弘文	辞任
令和3年 5月28日	理事	栞原 立人	就任
令和3年 6月15日	監事	川上 武	辞任
令和3年 6月23日	理事	熊野 弘子	辞任
令和3年 8月1日	理事	味能 弘之	就任
令和3年 8月1日	監事	吉岡 敬司	就任
令和4年 3月25日	理事	渡邊 真木人	辞任
令和4年 3月31日	理事長	住田 雄二	辞任

(2) 令和4年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	住田 雄二	平成30年 4月1日
常務理事	久保下 雅史	令和 3年 4月1日
理事	伊木 剛二	平成31年 4月1日
理事	上田 康博	平成30年 6月5日
理事	栞原 立人	令和 3年 5月28日

理事	牛 来 千 鶴	平成24年 4月 1日
理事	西 藤 諭美子	平成24年 4月 1日
理事	田 中 武	平成28年 6月 3日
理事	陳 俊 甫	令和 2年 4月 1日
理事	中 岡 弘 夫	平成26年 6月11日
理事	細 井 謙 一	平成24年 4月 1日
理事	味 能 弘 之	令和 3年 8月 1日
理事	森 脇 喜美代	平成24年 4月 1日
理事	吉 田 幸 弘	平成30年 6月 5日
監事	久 光 章	平成30年 4月 1日
監事	吉 岡 敬 司	令和 3年 8月 1日

Ⅲ 評議員会等の開催

1 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
令和3年 5月28日	第1回	1 評議員の選任について 2 評議員の選任について 3 理事の選任について	選 任 選 任 選 任
令和3年 6月22日	第2回	1 令和2年度公益財団法人広島市産業振興センター決算について 2 令和2年度公益財団法人広島市産業振興センター事業報告について 3 令和3年度公益財団法人広島市産業振興センター事業計画及び収支予算について 4 令和2年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等の報告について	承 認 終 了 終 了 終 了
令和3年 8月 1日	第3回	1 評議員の選任について 2 理事の選任について 3 監事の選任について	選 任 選 任 選 任
令和4年 3月30日	第4回	1 理事の選任について 2 理事の選任について	選 任 選 任

2 理事会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
令和3年 4月 1日	第1回	1 常務理事の選定について	選 定
令和3年 5月26日	第2回	1 令和2年度公益財団法人広島市産業振興センター事業報告及び決算について 2 公益財団法人広島市産業振興センター令和3年度評議員会	原案可決 原案可決

		(臨時)の招集について 3 公益財団法人広島市産業振興センター令和3年度評議員会(定時評議員会)の招集について 4 令和2年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等の報告について	原案可決 終了
令和3年 7月26日	第3回	1 公益財団法人広島市産業振興センター令和3年度評議員会(臨時)の招集について	原案可決
令和4年 2月 3日	第4回	1 常勤役員の報酬等について 2 令和3年度公益財団法人広島市産業振興センター収支予算の補正について	原案可決 原案可決
令和4年 3月28日	第5回	1 令和4年度公益財団法人広島市産業振興センター事業計画及び収支予算について 2 公益財団法人広島市産業振興センター令和3年度第4回評議員会の招集について 3 理事長・常務理事の職務執行状況の報告について	原案可決 原案可決 終了

IV 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

V 職員の状況

令和4年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区分	事務職員					技術職員					非常勤	合計
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事	部長級	課長級	補佐級	係長級	技師		
事務局長	1											1
企画総務課		1	1	2	2						2	8
中小企業支援センター	1	2	1	2	7							13
工業技術センター		1	1	2	1	1	2	3	5	5	4	25
副所長						1						1
技術振興室			1	2					1		2	6
材料技術室							1	1	3	3	2	10
システム技術室							1	2		1		4
デザイン支援室		1			1				1	1		4
合計	2	4	3	6	10	1	2	3	5	5	6	47

VI 事業の実施状況等

1 事業の実施状況

(1) 公益目的事業

① 企業の経営基盤強化、創業等の支援に関する事業（公益目的事業1）

中小企業の経営基盤の強化、創業等への支援を通じて地域経済の活性化に寄与することを目的として、次の事業を実施した。

ア 経営基盤の強化

コーディネータによる支援、窓口相談事業、アドバイザー派遣事業等により経営課題の解決を行うとともに、企業の成長を支える人材育成に関するセミナー等を開催し、中小企業の経営基盤強化に向けた支援を行った。

また、県・市連携の一環として、広島市域以外の広島県西部地域における中小企業者の経営相談等にも応じた。

(ア) コーディネータによる支援 171社

民間企業出身で経営、技術及び情報分野の専門的な知識と経験を有するコーディネータを配置して、中小企業者の経営や技術上の課題解決に向けて継続的に支援し、販路開拓支援（71社）、マッチング支援（60社）、経営計画・事業計画・ビジネスプラン策定支援（46社）等を行った。

(イ) 窓口相談事業（県市連携） 450件

専門家等による相談窓口（広島県西部地域を含む）を設置し、新型コロナウイルス感染症等の影響による売上減少等の経営上の課題を有する中小企業者等の資金繰り、働き方改革、BCP対策等の経営課題や事業承継、知的財産、法律問題などの相談に応じた。

また、（公財）ひろしま産業振興機構、広島商工会議所及び広島県商工会連合会と連携し、広島市域の中小企業者を対象とした一次相談窓口「広島市域中小企業支援ナビ（電話相談）」を運営することにより、各支援機関の支援メニューの情報提供やアドバイスをを行った。

(ロ) 融資制度等受付相談事業 215件

新型コロナウイルス感染症等の影響を受けて売上高等が減少している中小企業者に対するセーフティネット保証4号及び5号並びに危機関連保証の認定申請の受付のほか、資金繰り等の問題を抱える中小企業者に対して、助言や各種融資制度を紹介した。

(ハ) アドバイザー派遣事業

a 経営支援アドバイザー派遣 133回（34社）

新型コロナウイルス感染症等の影響による売上減少等の経営上の課題を有する中小企業者に対して、専門家を派遣し、生産性向上、販路開拓、人材育成、ICT化、働き方改革、BCP対策等に関して助言した。

- b 商店街等活性化支援アドバイザー派遣 10回（4団体）
商店街、事業協同組合等の団体が実施する研究会に対して、専門家を派遣し、イベント企画、販売促進、組織活性化等に関して助言した。
- c 障害者経営支援アドバイザー派遣 4回（3社）
障害のある事業主に対して、専門家を派遣し、経営課題の解決に関して助言した。
- d 景気対応等経営支援アドバイザー派遣 0回（0社）
セーフティネット保証制度の認定を受けた中小企業者等を対象に専門家を派遣し、喫緊の課題に関する助言を行うこととしていたが、対象となる事業者がいなかったため、アドバイザー派遣を実施しなかった。
- e 里山・離島活性化支援アドバイザー派遣 15回（7社）
中山間地域の中小企業者に対して、専門家を派遣し、販路開拓等に関して助言した。

- (f) **中小企業等人材育成事業**（広島広域都市圏）（拡充）8回（参加者数 145人）
中小企業経営者等を対象に、経営体質の強化、企業の成長を支える人材の育成を目的に、経営戦略、販売促進等に関するセミナーを開催した。
新型コロナウイルス感染症の影響により、集合形式8回予定のところ3回が集合形式、5回がオンラインの開催となった。

イ 時代をリードする技術・商品の開発

新成長ビジネス事業化支援事業や見本市等出展助成事業等により新製品・新技術や販路開拓の早期事業化を支援した。

(7) 新成長ビジネス事業化支援事業（広島広域都市圏）

中小企業者等が行う新成長ビジネス（エコビジネス、観光ビジネス、医療・福祉関連ビジネス、都市型サービスビジネス）に関する新製品や新技術の早期事業化を支援した。

a 事業化支援助成金

事業化計画のブラッシュアップ、試作品の機能、性能及び品質に関する評価及び改良、販路開拓等に要する経費を対象に助成金（助成率1/2、上限300万円）を交付した。

- ・交付企業数 4社
- ・助成額 966万6千円
- ・事業化の状況 令和3年度中に3社が販売開始できることとなった。
- ・1社から事業化計画変更等申請書が提出され、事業の中止を承認した。

b 専門家派遣

1社に対して専門家を派遣（2回）し、試作品の操作性向上、安全性確保等の機能改良に関して助言した。

(4) 見本市等出展助成事業（広島広域都市圏）（拡充）

中小企業者等が研究開発により実用化又は商品化したものについて、見本市等への出展に要する経費の一部に対して助成金（助成率1/2、上限20万円）を交付した。

- ・交付企業数 9社（オンライン見本市1社を含む。）

- ・助成額 142万1千円
- ・商談件数等 見本市等への出展の結果281件の商談が行われ、14件が成約に至った。

(7) 販路開拓支援事業

ものづくり分野で販路開拓支援サービスを運営している民間機関等との業務提携を行い、中小企業者等の販路開拓を支援した。

- ・マッチング 2件

ウ 個性と魅力ある商業の振興

いい店ひろしま事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した。これに伴い、前年度受賞店舗に対する専門家による指導は実施しなかったが、事業中止期間中の取組として事業及び受賞店舗のPRに努めた。

(7) 商店街等活性化支援アドバイザー派遣（再掲） 10回（4団体）

商店街、事業協同組合等の団体が実施する研究会に対して、専門家を派遣し、イベント企画、組織活性化等に関して助言した。

(イ) いい店ひろしま事業

a 顕彰事業

例年、広島市、広島商工会議所及び広島市内の各商工会と実行委員会を組織し、接客、店舗演出、ユニバーサルデザイン対応などが優秀と認められ、地域に根つき親しまれている小売店舗を顕彰しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止した。

b 応援事業

いい店ひろしま顕彰事業及び受賞店舗のPRに努めた。

[支援の実施内容]

- ・巡回店舗指導 令和2年度顕彰事業を中止したため、新たな受賞店舗がないことから、実施しなかった。
- ・交流懇談会 年1回、広島商工会議所との共催で顕彰店舗を対象に交流会を開催しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
- ・広報等 例年、「いい店ひろしま」の店舗紹介冊子を作成しているが、顕彰事業を中止したため、新たな受賞店舗がないことから作成しなかった。

なお、顕彰事業中止期間中に事業及び受賞店舗のPRを図るため、メルマガ「広島市産業振興センターNEWS」での受賞店舗紹介、広島市立中央図書館と受賞店舗を紹介するパネル展示の共催、インスタグラムの公式アカウント開設を行った。インスタグラムでは事業及び受賞店舗の紹介を開始した。

エ 創業しやすい環境づくり

創業者向け研修会・セミナーの開催や創業チャレンジ・ベンチャー支援事業などにより、創業者の掘り起しから創業時の事業運営までを支援した。

(7) 創業支援コーディネータによる支援 126社

民間企業出身で新商品・サービスの企画・開発、新規出店、マーケティング等に関する豊富な実務経験を有する創業支援コーディネータを配置し、創業者の発掘から情報提供、各種相談、マッチングなど、創業時における課題解決に向けて継続的に支援し、販路開拓支援（66社）、公的助成金申請支援（60社）等を行った。

(4) 創業チャレンジ・ベンチャー支援事業

有望な事業モデルを有する創業予定者及び創業後3年未満の中小企業を募集選定し、事業計画策定から事業運営までを、専門家派遣、融資等により総合的に支援した。

a 事業計画策定支援

- ・事業決定件数 19件（うち7件が創業後3年未満）
- ・専門家による事業計画策定支援 64回
- ・ワークショップの開催 3回（参加者数18人）

b 事業計画実行支援

- ・事業認定件数 13件（うち4件が創業後3年未満）
- ・専門家による事業計画実行支援 34回
- ・認定者向け研修の開催 1回（参加者数17人）

c 認定者サロン 4回（参加者数49人、うち1回は認定者向け研修と同時開催）

(7) 創業者向け研修会・セミナー（広島広域都市圏）（拡充）4回

創業予定者及び創業して間もない中小企業を対象に、創業に必要な知識・手法の習得や創業者が抱えている課題解決のための研修会・セミナーを開催した。

a 創業者向け研修会 4日間×2回

広島市立中央図書館と連携して、創業や経営に必要な知識・手法について演習を主体とした総合的な研修会を開催した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部カリキュラムをオンラインにて開催した。

- ・参加者数 41人

b 創業者向けセミナー 1日×2回

創業の心構えと基礎知識をテーマにしたセミナーを開催した。

- ・参加者数 36人

(1) 起業支援アドバイザー派遣事業 15回（15人）

創業予定者及び創業後3年未満の中小企業者に対して、専門家を派遣し、起業時の留意点、事業計画、販売促進策等に関して助言した。

(4) 創業特別窓口相談事業 23件

平日、窓口相談を利用できない創業予定者に対し、原則、毎月第3日曜日に相談窓口を設置し、中小企業診断士等の専門家が起業時の留意点、事業計画の策定や資金調達などの相談に応じた。

オ 卸売業の振興

流通革新研究会の開催 3日間×1回

広島市、広島商工会議所や協同組合広島総合卸センターと連携して、DX（デジタルトランスフォーメーション）について研究会を開催した。

- ・参加者数 18人（15社）

カ 情報の発信

中小企業に必要な経営や技術に関する情報提供や展示会への出展等を通じて、中小企業支援施策の広報を行った。

(7) 産業情報システムの運用

a 中小企業支援センターに関する情報提供

中小企業支援センターの事業案内、支援施策など経営に役立つ情報を発信した。

- ・アクセス件数 月平均11,128件（年間133,537件）

b ひろしまの企業支援情報に関する情報提供

広島市及び国・県等の中小企業向け支援情報を発信した。

- ・アクセス件数 月平均391件（年間4,691件）

c 工業技術センターに関する情報提供

工業技術センターの有する技術情報等を発信した。

- ・アクセス件数 月平均10,395件（年間124,736件）

d 広島の企業情報の収集・発信

広島の企業の保有技術やノウハウ等を収集・登録し、インターネットを通じて情報発信することで、ビジネス機会の拡大を支援した。

- ・アクセス件数 月平均21,335件（年間256,022件）
- ・登録企業数 380社

(4) 情報提供

a メールマガジンの発行（広島広域都市圏）

中小企業に必要な経営や技術に関する情報、研修会等の開催案内、各種支援施策情報、支援企業の紹介などを掲載したメールマガジン「広島市産業振興センターNEWS」を発行した。

- ・発行回数 19回（定期号12回及び臨時号7回）
- ・配信者数 3,483人（令和4年3月末現在）

b SNSの活用（拡充）

Twitter等により随時、情報を発信した。

- ・ツイート数 105件
- ・ツイートインプレッション数 月平均2,384件（年間28,612件）
- ・アカウントへのアクセス数 月平均1,294件（年間15,529件）

c 展示会への出展

- ・第20回ビジネスフェア中四国2022

当財団のブースを設け、中小企業支援センターが支援（創業チャレンジ・ベンチャー支援事業、窓口相談、専門家派遣、コーディネータ）した3社の商品を展示し、説明・販売を行った。

開催期間 令和4年2月2日（水）～令和4年2月3日（木）

会 場 広島県立総合体育館
 来場者 1, 0 0 1 人
 ブースへの訪問数 1 7 5 件
 パンフレット配布数 1 0 3 件
 バイヤーとの商談件数 4 4 件

・ひろしま I T 総合展 2021

当財団のブースを設け、中小企業支援センターが支援（創業チャレンジ・ベンチャー支援事業、窓口相談、専門家派遣、コーディネータ）した企業と出展予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響により開催が令和4年度に延期となった。

d ビジネスサポート事例集の作成

当財団の支援事例集を作成し、広島市の中小企業向け支援事業の活用方法などについて紹介した。

キ その他

経営革新等認定支援機関（国の認定支援機関）、広島地域中小企業支援プラットフォームの代表機関（国への登録支援機関）として、国の各種補助金をはじめ中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業専門家派遣（中小企業119）等、国の中小企業支援施策の活用を通じて、中小企業の経営基盤の強化、創業等の支援を行った。

② 企業の技術向上に係る支援事業（公益目的事業2）

中小企業に対する技術支援を通じて地域経済の活性化に寄与することを目的として、次の事業を実施した。

また、引き続き、県・市の連携強化の一環として、研究会、研修会の共同開催をするなど利用者の利便性向上を図った。

ア 広島市工業技術センターの指定管理

(7) 技術研究会

企業等の技術者の技術水準の向上を図るため、企業や大学等で構成する研究会を設け、技術的課題の解決や既存技術の応用研究に向けた取組等を通じ、会員企業等の製品開発、技術開発などを支援した（県市連携事業のカッコ内は、県担当回数で内数）。

研究会名	内 容	開催回数	会員企業数
広島表面処理技術研究会 (県市連携)	表面処理（めっき等）技術の向上、有害物質等の環境規制への対応及び若手技術者の育成（書面開催、オンライン開催を含む）	9回 (1回)	33社
省エネルギー材料研究会	省エネルギーに資する材料の開発、材料を活用した製品の高付加価値化及び部品の開発（オンライン開催）	2回	12社

(イ) 技術者の研修

中小企業の製品開発、設計、製造、評価・解析等の技術力の向上を図るため、材料・加工技術、システム技術及びデザインに関する基礎的知識及び専門的知識

を体系的に習得できる研修会と最新の情報を提供する講習会・セミナーを開催した（県市連携事業のカッコ内は、県担当回数で内数）。

講習会名等	内 容	開催回数	参加者数
金属加工技術講習会	金属加工技術に関する技術情報の提供 (対面及びオンライン開催)	1回	36人
広島高分子材料研修会 (県市連携)	プラスチック、ゴム等の高分子材料に関する技術情報の提供（オンライン開催を含む）	3回 (0回)	131人 (0人)
新素材技術講習会（新規）	新素材、新材料に関する情報の提供（オンライン開催）	1回	26人
デジタルエンジニアリング講習会	三次元デジタルデータを利用した製品の設計・製造に関する最新技術や活用事例の紹介（オンライン開催）	1回	14人
解析・シミュレーション研修会	強度解析などシミュレーション技術の習得を目的とした講義及び実習（オンライン開催）	1回	11人
3D形状評価技術体験研修会	ものづくりにおける三次元形状評価に関する基礎講習及び実習（オンライン開催を含む）	5回	7人
情報・電子技術講習会	情報処理技術、電子技術、通信技術等の最新情報及び活用事例の紹介（対面及びオンライン開催）	1回	24人
デザイン講習会	デザインの開発事例及び最新動向等の情報提供（オンライン開催）	1回	78人
商品企画・開発講習会	商品企画・開発手法に関する事例及び企画立案のポイント等の紹介（オンライン開催）	1回	38人

(7) 技術指導推進

a 工業技術支援アドバイザーの派遣 34回

中小企業の技術力の強化を支援するため、商品開発、デザイン、塗装方法の改善などに関して専門家を企業に派遣し、具体的な技術的課題に対して指導を実施することにより、その解決を支援した。

b 技術指導相談 2,370件

中小企業の生産性、技術力及びデザイン開発力の向上を図るため、企業技術者の来所等による技術指導・相談を随時実施し、製品不良対策、品質管理等の企業が直面している技術的課題の解決、新製品・新技術の開発やデザインを活用した商品づくりを支援した。

c 依頼試験・評価 17,240件

中小企業の技術力の向上と新製品の開発を促進するため、製品及び部品の物理的・化学的諸特性などについて、各種試験・評価及び技術指導を行うとともに、欠陥原因の究明など企業が直面している技術的課題の解決を支援した。

d 技術情報普及

中小企業の技術力の向上を図るため、専門的かつ広範囲な技術情報を入手・提供した。また、工業技術センターにおいて、技術相談・指導、依頼試験等の各種データをデータベースに蓄積するとともに、利用者・企業の利用状況を分析し、効果的・効率的な技術支援に活用した。

(イ) 工業技術センターの運営

a 試験研究設備利用

新製品開発に必要とする試験研究設備を中小企業の利用に供した。

- ・設備利用件数 5, 831件

b 工業技術振興調査

工業技術センターの事業充実を図るため、各種中小企業団体に対し、中小企業における現状や課題、要望等について調査・分析を行った。

- ・アンケート調査 10団体

イ 指定管理以外の支援事業

(7) 環境・エネルギー関連分野の支援

環境経営に関する講習会、次世代のエネルギー関連技術の動向などについてのセミナーを開催した。

名 称	内 容	開催回数	参加者数
環境経営実践講習会（広島広域都市圏）	環境経営の先進企業の取組み状況等に関する情報提供（オンライン開催）	1回	39人
次世代エネルギー産業創出セミナー（広島広域都市圏）	水素などの次世代エネルギーを取り巻く現状と可能性、今後の展望に関する情報提供（オンライン開催）	1回	115人

(イ) デザイン関連分野の支援

多様化した市場ニーズに即した商品開発の強化と企業のデザイン開発力の向上を図るため、デザインに関する振興事業を実施した。

a ひろしまデザインネットワーク（広島広域都市圏）

デザイン関連団体や企業、大学等を会員とする「ひろしまデザインネットワーク」を運営し、情報交換等を行うことにより、会員の相互連携を深め、広島広域都市圏におけるデザインネットワークの構築とデザイン振興拠点機能の強化を図った。

名 称	内 容	開催回数	参加者数等
情報交換会議	各会員団体の活動状況報告（書面開催を含む）	2回	34団体
先進事例勉強会	デザイン開発とブランド開発	1回	38人
分科会	デザイナー間の情報交換	中止	—

b ひろしまグッドデザイン賞（隔年）（広島広域都市圏）

広島広域都市圏内の企業が開発したデザイン面・機能面で優れた商品及びパッケージを「ひろしまグッドデザイン商品」として選定しこれを顕彰することにより、圏内の産業界や住民等のデザインに対する理解と関心を深め、デザイン関連企業の育成、商品の販売促進、圏内産業の振興を図っている。

令和3年度は、隔年実施の選定年度で、第17回ひろしまグッドデザイン賞の選定等を実施した。

- ・応募点数 131点（92社）

- ・賞及び選定数

グランプリ	2点	(プロダクト部門、パッケージ部門 各1点)
準グランプリ	2点	(プロダクト部門、パッケージ部門 各1点)
特別賞	1点	
奨励賞	36点	

- ・展示会等

区分	名称・会場	期間
表彰式、 展示・販 売会	「ひろしまグッドデザイン賞」の表彰式 及び展示・販売会 (紙屋町シャレオ中央広場)	11月11日 ～12日
展示会	第93回東京インターナショナルギフト ショーへの出展 (東京ビッグサイト(東展示棟))	2月8日 ～10日

c デザイナーマッチングサイトの運営(広島広域都市圏)

中小企業等が自社にふさわしいデザイン企業を探ることができるよう、広島広域都市圏内のデザイナーに関する情報を発信するとともに中小企業等への指導・相談、コーディネートを行うことにより、中小企業等によるデザイン活用を支援した。

- ・新規登録デザイン企業数 6社(累計90社)
- ・指導相談 61件
- ・コーディネート 47件

(f) 広島市児童生徒発明くふう展

児童生徒の創意工夫を啓発し、発明意欲の向上を図るとともに、企業の知的財産に対する関心を高め、技術・製品開発を促すことにより、産業教育及び産業の振興に寄与することを目的として、児童生徒が自由な発想で作製した科学的、独創的でアイデアに富んだ作品を募集し表彰した。

- ・応募点数

小学校の部	10校	107点
中学校の部	3校	55点
高等学校の部	応募なし	

- ・賞及び選定数

区分	特賞	モビコン賞	優秀賞	学校賞	計
小学校	7点	13点	6点	1点	27点
中学校	8点	1点	10点	1点	20点
計	15点	14点	16点	2点	47点

- ・展示会等

区分	会場等	期間
展示会	5-Days こども文化科学館 (広島市こども文化科学館)	10月15日～10月17日
表彰式	5-Days こども文化科学館 (広島市こども文化科学館)	10月17日

(i) その他

工業技術センターが実施する事業及び他機関が募集する各種研究開発補助制度等の情報提供を行った。また、中小企業の技術支援に資する事業として中小企業

団体や支援機関と講習会の共催を行った。
 ・情報提供（メールマガジン） 47回

(2) 収益事業等

① 研修室等の管理運営

中小企業の研修や会議等の活動の場として、研修室、会議室（各1室）の貸出を行った。

・利用日数 研修室 36日、会議室 5日

② 広島ミクシス・ビルの管理

広島市、協同組合広島インテリジェントセンター及び株式会社広島ソフトウェアセンター（区分所有権の譲渡に伴い、令和3年10月1日からは、株式会社データホライゾン）から委託を受けて、広島ミクシス・ビルの共用部分等の管理を行った。

2 無償使用貸借資産

事業を実施するに当たって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(1) 建物等

(令和4年3月31日現在)

名 称	現 在 地	区 分		現 在 高
		広島市産業振興センター (広島ミクシス・ビル)	西区草津新町 一丁目21番35号	建物
駐車場				収容可能台数 9台分

(2) 物品

(令和4年3月31日現在)

区 分		現 在 高
車両	乗用車	4点

注：この表は、重要物品として取得価格又は評価価格が100万円以上の物品を掲載した。

3 事業報告の附属明細書

記載すべき事項はありません。